

順天堂医院ニュース 2023 NO.85

東京都知事より当院の 新型コロナウイルス感染症対策への 貢献に対して感謝状が贈呈されました

2020年1月の新型コロナウイルス第1波から今日まで、順天堂医院では、東京都と連携を密にしてさまざまな対応を行ってまいりました。

院内の感染対策を徹底するため、従来以上に負荷がかかる中でも、医療従事者の使命として、新型コロナ患者の受入れ、酸素・医療提供ステーションへの医師派遣、地域住民に対するワクチン接種等の活動を続けてきました。また、刻一刻と変わる感染状況に応じて対応方針を変更する必要があり、東京都と医療機関は週に1回は情報交換の場を設け、常に足並みをそろえて対応をしてまいりました。

2023年7月、この一連の取り組みに対し、東京都から高橋院長へ感謝状が贈呈されました。

順天堂医院はこれからも感染症対応などに限らず、地域貢献を図ってまいります。今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



感謝状を受け取った高橋院長



各記事にあるQRコードを読み込むことで、各診療科および各部署のHPを開くことができます。ぜひ、ご活用ください。



順天堂医院HP

ご存知ですか？ がん治療後の「リンパ浮腫」

順天堂医院形成外科・足の疾患センター

がん治療などの後遺症に、腕や脚がむくむ「リンパ浮腫」という病気があります。手術直後に発症することあれば十数年経過してからのこともあり、大きな個人差があります。直接、生命を脅かす病気ではありませんが、放置すると徐々に悪化し日常生活に影響が及びます。

リンパとは血液の一部が組織に浸みだした液体です。老廃物や体外から侵入した細菌などの異物を洗い流す、体内の水分バランスを調整するなど人体にとって重要な役割を持っています。このリンパの流れが悪くなることで生じるむくみをリンパ浮腫といいます。

がんの治療では転移を予防するため、リンパ節の切除や放射線治療、抗がん剤治療を行います。これによりリンパの流れが途絶えたりリンパ管の機能が低下したりします。すると腕や脚のリンパの流れが滞り、リンパ浮腫が発生します。だるさや重さを感じる、患肢が太くなる、皮膚が硬くなったり張ったりするなどの症状がみられ、患肢全体の発赤や発熱を伴う蜂窩織炎といわれる強い炎症を起こすこともあります。

腕のリンパ浮腫は乳がん、脚では子宮がんや卵巣がん、前立腺がん、膀胱がんなどの治療後に起こりやすく、放置すると進行するので、早期発見と適切なケア・治療により良い状態を維持することが大切です。

『リンパ浮腫外来（形成外科）』や『下肢浮腫外来（足の疾患センター）』では超音波検査やリンパシンチグラフィ検査に基づく適切な圧迫療法を行い、重症例にはリンパの逃げ道を作る手術であるリンパ管静脈吻合術も行っています。がん治療後のむくみでお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度、形成外科もしくは足の疾患センターへご相談ください。



順天堂医院HP【形成外科】



順天堂医院HP【足の疾患センター】



先端技術とチームワークで進化する 心臓血管外科手術

順天堂医院心臓血管外科

順天堂医院心臓血管外科は、医療の新しい可能性を追求し、高度な治療を患者さんに提供することを目指しています。チーム医療と最新技術の組み合わせにより、私たちは心臓血管疾患の治療におけるパイオニアとしての役割を果たしています。

2022年12月からは、僧帽弁または三尖弁形成術に対してロボット心臓手術を開始しました。当科は、従来から胸腔鏡下心臓手術の経験が豊富であり、小さな創から完全に鏡視下で手術を行う技術を有しています。このため、手術支援ロボットの導入により創がさらに小さくなるわけではありませんが、ロボットが有用と考えられる症例でロボットを手術道具のひとつとして使用しています。ロボットは得意なことと不得意なことがあり、従来の胸腔鏡下心臓手術とロボット心臓手術、両方のオプションを持つことで、患者さん一人ひとりに適切な治療を提供し、より多くの患者さんに低侵襲手術のメリットを届けることが可能となります。

さらに、当科では新たに診療看護師がチームに加わりました。高度なトレーニングを受けた診療看護師がチームに加わることで、医師と看護師だけではカバーしきれない患者さんのニーズをカバーし、治療結果と患者満足度のさらなる向上を目指します。

順天堂医院心臓血管外科は、治療法の革新と共に、患者さん一人ひとりの生活の質の向上を目指しています。私たちは、最新の技術と熟練したチーム、そして患者さんとの強い絆を通じて、これからも治療の新たなスタンダードを創り続けていきます。



ロボット手術の様子



診療看護師：尾上 香代子（左）、重富 杏子（右）

順天堂医院HP【心臓血管外科】



乳腺センターニュース

順天堂医院乳腺センター長 齊藤 光江

2023年6月22日(木)～6月24日(土)、奈良県でがんサポーターケア^{※1}の国際学会(MASCC)と国内学会(JASCC)の合同学術集会を開催させて頂きました。MASCCは主に北米と欧州を交互にその開催地としてきましたが、今回がアジア初進出です。日本学術会議の後援も得て、開会式では岸田内閣総理大臣からのメッセージも頂戴いたしました。

翌6月25日(日)には、順天堂大学小川記念講堂と東大寺金鐘ホールを結んで、順天堂大学研究ブランディング事業のISPACOS(患者にやさしいがん医療サイエンス)のグループ(乳腺センター主導)とともに市民公開講座を開き、医療の安全は患者さんの積極的な参加でかなうこと、臨床試験も患者参画を必要としていること、医療費に関する社会保障のことについて講演と意見交換がなされました。

がんは取り除くことで、その症状から解放されるかと思いきや、治療に伴う副作用や後遺症が患者さんを苦しめることもあります。これらにきちんと対処するための多職種チームによるサポーターケアの実践は、世界的にも課題が多いのですが、チーム医療は順天堂医院乳腺センターの強みでもあります。また、吐き気・痛み・発熱・脱毛への対策、育児希望、就労支援、骨の症状緩和、リハビリ、家族ケア(小児を含む)など、今回も全国で一番多くの研究発表を行いました。

同様の市民公開講座は、ピンクリボン月間^{※2}の10月8日(日)午前10時～にも開催を予定しております。ご希望の方は、乳腺センターまでお問い合わせください。皆様のご参加を心より歓迎いたします。

※1：『がんサポーターケア』とは、がん治療を頑張っている人々が負っているつらさ(がんやがん治療によって心身が受けるつらさ、社会的な立場の不安定性とそれによる経済的なつらさ、生きる意味に関して感じるつらさなど)に対するケアのことです。

※2：毎年10月は『ピンクリボン月間』で、世界規模で乳がん検診の早期受診を呼びかけています。



(写真は、齊藤センター長の登壇の様子)

順天堂医院HP【乳腺センター】



難治性てんかんに対するロボットを用いた頭蓋内電極留置術のご紹介

順天堂医院脳神経外科 近藤 聡英 / 飯村 康司 / 鈴木 皓晴

< 難治性てんかん >

てんかんは、『てんかん発作』を繰り返す脳の慢性疾患です。あらゆる年齢で発症し、現在、日本国内では推定100万人以上(100人に1人)の患者さんがいると言われています。適切な薬物治療により6~7割の患者さんの発作は止まります。一方、長期にわたりてんかん発作が止まらない「難治性てんかん」の患者さんに対しては、外科手術による治療を検討します。



< 難治性てんかんに対する外科治療 >

てんかん外科手術において、発作を引き起こす『てんかん焦点』が脳内のどこに位置しているのかを特定することは非常に重要です。これ

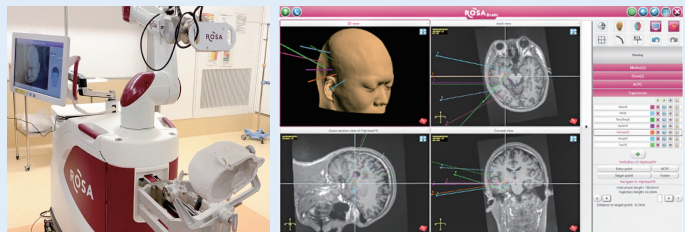
まで、てんかん焦点を特定するための頭蓋内電極留置術は、長時間にわたる開頭手術で行われていましたが、令和2年度より『SEEG』によるてんかん焦点診断が可能となりました。

< SEEG とは >

定位的頭蓋内脳波 (Stereo-Electroencephalography : SEEG) は、細い深部電極を頭蓋骨に開けた小さな穴 (直径約 2-3mm) を通して複数本留置し、測定される脳波です。開頭手術を必要としないため低侵襲であり、脳深部を含む広範な領域を評価することが可能です。ヨーロッパで開発された手法ですが、ロボット支援下での電極留置術の普及により、現在では世界中で広く行われる脳波検査となりました。SEEG によるてんかん焦点診断は、てんかん手術 (焦点切除術等) による発作の消失・減少率を有意に向上させることが報告されています。

< ROSA One ロボットシステムについて >

ROSA One ロボットシステムは、術前に定められた電極留置計画に従い、ロボットアームが手術器具を運搬・把持する手術支援ロボットです。米国高度てんかんセンターを中心に全世界で200台以上の導入実績があり、SEEGに向けたその高い留置精度、安全性及び手術効率性が評価されています。



ROSA One ロボットシステムと手術計画用 ROSA ソフトウェア (脳神経外科ジャーナル Vol. 31 No. 6 より引用)



頭蓋内電極留置術の様子 (脳神経外科ジャーナル Vol. 31 No. 6 より引用)

当院では、令和3年10月に ROSA One ロボットシステムを用いた頭蓋内電極留置術を国内で初めて導入しました。十分な実績と高い信頼性のあるロボットを用いることで、効率的かつ安全に SEEG を施行することが可能であり、今後もてんかん患者さんへより高度な治療を提供することが期待できます。難治性てんかんに限らず、『てんかん』についてお困りの方は、ぜひ一度、当科にご相談ください。

順天堂医院HP【脳神経外科】





臨床検査技師は顕微鏡で何を観察しているの？

～血液像でみられる赤血球の形～

臨床検査技師は、PCRのように機械を使って検査をするイメージがありませんか？顕微鏡を使う検査も、臨床検査技師の重要な仕事の一つです。今回は、「血液像」と呼ばれる検査を皆さんに紹介します。

血液像は、血液をスライドガラスに薄く塗り、染色液で色をつけてから、細胞の大きさや形、染まり方を顕微鏡で観察する検査です。検査機器ではわからない異常を見つけることができます。

血液像でみられる細胞の一つに赤血球があります。これは、中央部が凹んだ円盤状で、核を持たない直径7～8 μmの細胞です(図1)。血管の中を移動して、酸素や二酸化炭素を運ぶ役割があります。

実際に病気でみられる赤血球の形をみてみましょう。

赤血球が血管内の血栓(血液の塊)にぶつかると断片ができ、これを破碎赤血球と呼びます(図2)。破碎赤血球は、細い血管に血栓ができていないかの目安になります。心臓に人工弁を留置している場合にも、破碎赤血球がみられることがあります。

涙の形をした赤血球は、涙滴赤血球と呼びます。血液を作る骨髄の異常により別の場所で血液を作るようになった病気でみられることがあります(図3)。この他にも病気と関連した赤血球の異常は多々あり、どれもが病気を診断する上で非常に重要です。

臨床検査技師は、検査機器の情報を参考にしながら、顕微鏡を使って沢山の情報を得ることができ、病気の診断につながる重要な手がかりを提供しています。

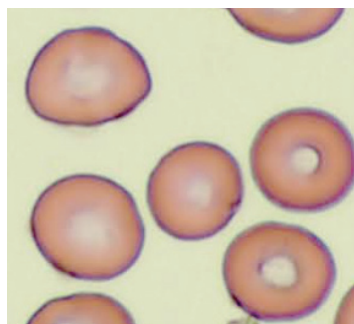


図1：正常赤血球

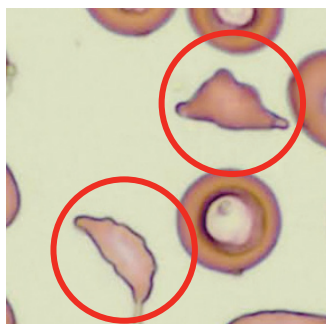


図2：破碎赤血球



図3：涙滴赤血球



食物アレルギーについて

年々増加傾向にある食物アレルギー。特定の食べ物に含まれる「アレルゲン（アレルギーの原因となる物質）」に『免疫』機能が反応し、身体にアレルギー症状を起こすものです。1歳未満の乳児で最も多く発症しますが、厚生労働省の調査では小児から成人まで幅広く認められています。症状も皮膚症状や嘔吐などの消化器症状、ショック症状などがあります。食物アレルギー患者さんへの食事療法の基本は、正しい原因アレルゲン診断に基づく必要最小限の食品除去であり、アレルギー表示の読み方を理解することも大切です。

当院では、入院中のお食事について、食物アレルギー患者さんへの対応は、原因食物の除去法を行い、加工品・完全調理品についてはメーカーより提出されるアレルギー物質の表示に準じて除去を行います。食物アレルギーがある場合には医療従事者への情報提供にご協力ください。



漢方薬の服用について

「漢方薬は苦いから・・・、香りがちょっと・・・」と、薬を処方されても、なかなか飲めないという人も多いのではないのでしょうか。今回は、少しでも漢方薬を服用しやすくする方法をご紹介します。



顆粒が口に残るとか、入れ歯の隙間に挟まる場合は、顆粒を少量のお湯に溶いて服用する方法があります。少し溶けにくいですが、溶かしても温度による成分の変化はほとんどありません。程よく溶けたところで氷を入れると匂いや味も抑えられて、服用しやすくなります。

香りが苦手な方は、オブラートをおすすめします。オブラートは口の中でくっついて破れてしまうことがあるので、オブラートで包んだ薬を少量の水に浸して、ゼリー状にして服用すると飲みやすくなります。漢方薬は香りも重要な役割をしているので、この香りは体に効きそうだなと感じながら、服用してみてください。

最後に味です。味は甘いものもあればとても苦いものもあります。独特な味が服用しにくいと感じる方もいらっしゃると思います。口に含んだ水の上に漢方薬を落とし、一気に飲み込むことで、苦味が緩和されます。コーヒーやココアなど少し苦味のある飲み物や、アイス等の冷たいものを漢方薬と混ぜると苦味を軽減してくれます。お子様であれば薬の服用を助けてくれるゼリー等と一緒に服用してもよいかもしれません。



漢方は体調によって味も香りも感じ方が変わると言われています。個人差は大きいと思いますが、漢方薬を服用しにくいと感じる方はお試しください。

ご不明な点があれば医師や薬剤師にご相談ください。



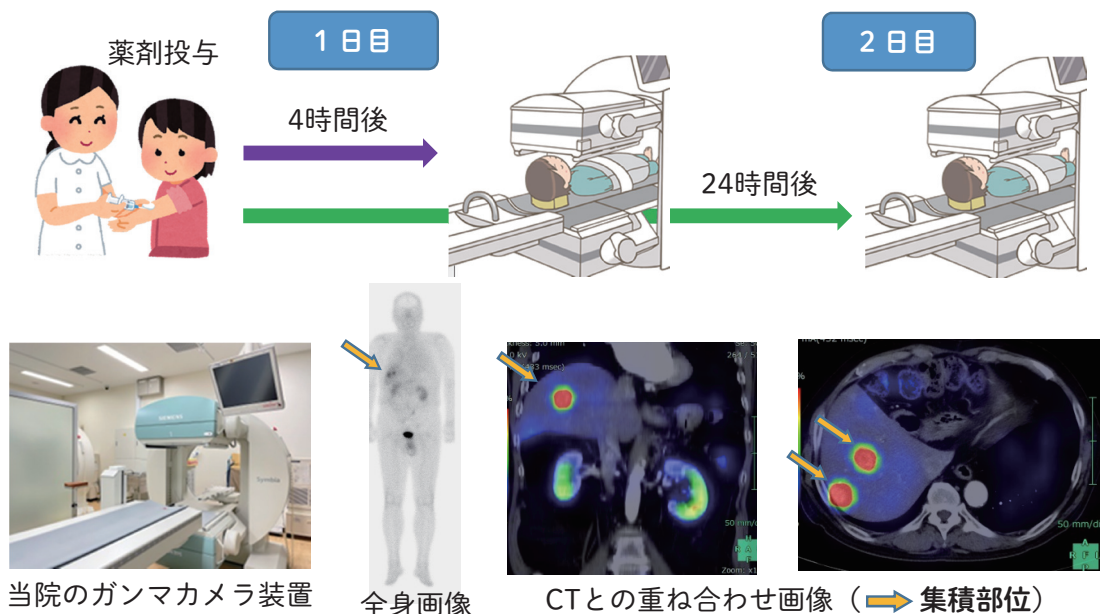
オクトレオスキャン検査(ソマトスタチン受容体シンチグラフィ)のご紹介

オクトレオスキャン検査は**神経内分泌腫瘍**に発現しているソマトスタチン受容体に結合するお薬（オクトレオスキャン：一般名 インジウムペンテトレオチド）を注射し、腫瘍部位を一度で全身検索できる検査です。

神経内分泌腫瘍は、神経内分泌細胞（ホルモンやそれに似た物質を分泌する役割を持ち、全身に分布します）から発生する腫瘍で膵臓、胃、小腸などの消化管や肺などの様々な臓器に発生します。腫瘍細胞の表面には、ホルモンの一種であるソマトスタチンと結合する受容体が高頻度に発現しています。腫瘍細胞の表面にあるソマトスタチン受容体の分布を画像化し診断します。

この検査は病巣検出力が高いことから、治療前の病巣診断、転移・再発診断などに使われます。また、**ソマトスタチン類似薬による治療（ルタテラ治療）**の適応判定にも用いられています。

検査では、放射性薬剤を静脈注射し、注射から4時間後、24時間後に全身および局所を1時間程度かけて撮像します。



日本では2021年、新たな治療として放射性核種療法（ソマトスタチンとよく似た物質に、放射線を出す物質を結合させたお薬を使った治療法；ルタテラ治療）が保険承認され、**当院でもこのルタテラ治療を行える体制が整っています。**



70歳以上の方の医療費について



《高額療養費制度について》

70歳以上の方等には、『高齢受給者証』または『後期高齢者医療被保険者証』が交付され、1か月の医療費は「自己負担限度額」（下記【表①】参照）まで、窓口でお支払いいただく形となります。

自己負担割合が3割で、年収が約1160万円以下の方は事前に「限度額適用認定証」の申請をし、交付された認定証を病院の会計窓口へ提示いただくことで、病院の支払いが所得区分に応じた自己負担限度額までとなります。

自己負担割合が1～2割で、かつ住民税非課税の方も、同様に保険者にて「減額認定証」の手続きをしていただくことで、窓口の負担が少なくなります。

また令和4年10月1日から、75歳以上の方等で、一定以上の所得がある方は、医療費の窓口負担割合が変わりました。

その内容は、『課税所得が28万円以上かつ「年金収入+その他の合計所得金額」が単身世帯の場合200万円以上、複数世帯の場合合計320万円以上の方は、窓口負担割合が2割になる』というものです。令和7年9月30日までの間は、2割となる方に対し負担を抑える配慮措置もあります。詳しくは都道府県「後期高齢者医療広域連合」または市区町村の「後期高齢者医療担当窓口」までお問い合わせください。

※現役並み所得者の方は、10月1日以降も引き続き3割です。

【表①】

適用区分		自己負担の割合	1ヶ月の自己負担限度額	
			外来・入院 (世帯ごと)	外来 (個人ごと)
現役並み	年収約1160万円～	3割	252,600円 + (医療費 - 842,000) × 1% < 140,100円 ※① >	
	年収約770万～ 約1160万円		167,400円 + (医療費 - 558,000) × 1% < 93,000円 ※① >	
	年収約370万～ 約770万円		80,100円 + (医療費 - 267,000) × 1% < 44,400円 ※① >	
一般	年収156万～約370万円	70～74歳の方は、2割	57,600円 【多数回該当： 44,400円】	18,000円 < 年間の上限額144,000円 >
非住民税	住民税非課税世帯Ⅱ以外の方	75歳以上の方は1割もしくは2割	24,600円	8,000円
	住民税非課税世帯Ⅰ 年金収入80万円以下等		15,000円	

※①多数回該当

☆申請窓口は保険者（保険証に記載）になりますが、不明点があれば、医療福祉相談室へお問い合わせください☆



患者さんのそばで最良の医療を実践するために ～診療看護師 NP のご紹介～

診療看護師 (NP) とは

診療看護師 (Nurse Practitioner ; ナースプラクティショナー) は通称 NP と呼ばれ、通常は医師が行う診療行為を一定の制限のもとで安全かつ迅速に行う看護師を言います。看護師として 5 年以上の経験に加え、大学院で 2 年間の医学教育を受けたのち認定試験を合格することで得られる資格です。

記憶に新しい COVID-19 パンデミックでは医療ひっ迫が問題となりましたが、そこでも診療看護師の活躍が話題となったことがありました。診療看護師は診療と看護、両方の視点を活かしながら新しい医療サービスを展開するキープレイヤーとしても期待を集めています。

順天堂医院「NP プロジェクト」が始動

当院においても NP の活躍の場を広げるべく、2023 年 7 月「NP プロジェクト」が立ち上がりました。現在は 2 名と少数精鋭ながら、まずは心臓血管外科チームのメンバーに加わり、心臓手術を受けられる患者さんの診療と看護を、医師と連携して行っています。NP の実践には、厚生労働省が指定する特定行為※に加え、医師からの具体的指示によって実践する一定の医行為が含まれます。患者さんの傍で、患者さんを待たせない安全な医療を届けること、看護師としてチーム医療の架け橋となる役割を担うこと、そして治療と看護を融合し最良の医療を提供できることを目標に活動して参ります。ご理解、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



診療看護師 NP の尾上さん (左) と重富さん (右)

※特定行為とは、診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる 38 行為を指す。(厚生労働省ホームページより)

今日からはじめる

健康講座



10月号



総合診療科 教授
小林 弘幸

秋バテ解消

暑さも少しずつ和らぎ、過ごしやすくなる9月頃に、ぐったりとしてしまう疲労感や便秘が気になる方も多いのではないのでしょうか。これは「秋バテ」と言い自律神経の乱れによって起こります。自律神経はアクセル役の交感神経と、ブレーキ役の副交感神経によって身体の均衡を保っていますが、夏から秋の季節の変わり目では、朝晩の寒暖差や台風による気圧の変化、冷たい飲み物を飲むことや、空調の使用によって、アクセルとブレーキのバランスが崩れてしまい、秋バテの原因となります。秋バテの解消には、まずは入浴をすることが大切です。忙しく時間に余裕のない時は、ついシャワーで済ませてしまいがちですが、適切な入浴で副交感神経の働きを高めることができます。寝る前の1～2時間ほど前に、少しぬるめのお湯(40℃程度)にゆったり浸かりましょう。熱いお湯に浸かってしまうと交感神経が優位になり、身体が興奮状態になるので、注意が必要です。また、マッサージやストレッチをすることもおすすめです。首や肩を回したり、足の指を開いたり、簡単なものから取り入れてみましょう。リラックスして副交感神経が良く働くと便秘の解消にもつながります。そして、最も重視したいのは、良質な睡眠をとることです。寝る直前までスマートフォンやパソコンの明るい画面を見ることが交感神経が活性化されてしまい、睡眠が妨げられ、悪循環に陥ります。まずはできることから始めて快適な秋を過ごしましょう。

あなたの
スマホに

どこにいても、 待合室への呼び出し通知



登録はアプリサポートデスクへ
アプリサポートデスクは院内に複数あります

運営場所	平日運営時間	土曜運営時間
1階 エスカレーター 横	9:00~17:00	9:00~13:00 (第2土曜除く)
2階 外来2A 横		
3階 外来3A 横	9:00~13:00	
4階 外来4A 横		×

マイホスピタルは対面登録式のスマホアプリです。院内設置の MyHospital アプリサポートデスクに登録者ご本人様が診察券原本と本人確認書類をご持参の上、ご登録をお願いします。
未成年のご登録や本人確認書類の詳細に関しましては、サポートデスクへお問い合わせいただくか、MyHospital のホームページ「よくある質問」をご確認ください。



本人確認書類

- 1点確認…運転免許証、パスポート（住所記載あり）、在留カード、マイナンバーカード、住民基本台帳カード、
身体障害者手帳※、精神障害者手帳※、療育手帳※ ※…顔写真なしの場合は下記の書類と2点確認
- 2点確認…健康保険被保険者証、介護保険被保険者証、診療明細書、国民年金手帳、母子健康手帳、医療費受給者証

お問い合わせ窓口 プラスメディアサポートデスク
☎ 0120-120-075 (9:00 ~ 18:00 ※年末年始を除く) ✉ support@plus-medi-corp.com



順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL : 03-3813-3111 (大代表)
編集 広報管理運営委員会
発行 事務部 管理課 (2023年10月発行)

ホームページ
<https://hosp.juntendo.ac.jp/>

順天堂医院

